

国際教養学部(外国語) 問題解説

□■ 出題意図・評価方法・評価ポイント

- 〔Ⅰ〕 数を表す表現を持たない言語についての文章を読み、人間は数の表現を持たなければ物の量を正確に把握できないこと、我々が用いる60進法をベースにした時間の概念は全ての人間に共有されているものではなく、人間が作り出した概念であることを理解できるかを確認するポイントを出題しています。
- 本文から単語を抜き出す問題では、大学受験で求められる語彙レベルを超えた単語の意味を文脈から推測する力を求めています。和訳問題では、子供が数の表現を覚える過程を理解しながら、動名詞を主語に持つ構文を把握した上で、明確な日本語に訳す力を問うています。3つの内容説明問題では、数の表現を持たない言語話者の物の量を把握する能力を調べた実験の概要、インド・ヨーロッパ祖語に由来する言語が10進法を用いるようになった理由、分や秒の単位から構成される時間の概念は人間が作り出したものであることを理解できるかを確認します。
- 〔Ⅱ〕 現在の社会の問題にもつながる、第二次世界大戦直後のアジア系市民に対する差別を扱った日系アメリカ人作家による、短篇小说の一部(前半)を読み、日系である主人公が東アジアの他の地域(中国)からの移民に対して親近感を持ちながらも、故国が違うが故に、日系人が直接差別の対象になってはいないことにほっとするという矛盾した感情を読み取れるだけの英語運用能力を問うています。
- まず、三人の登場人物が座った位置の関係を確認した上で、説明問題では、下線で示した行動や発言や心情を通じて、その背景にあるそれぞれの人物の設定、登場人物たちの行動の基となる思考を読み取れる言語運用能力を身につけているかを試しています。和文英訳では、特定のイディオムなどの知識を問うのではなく、4つの行為を記述する節(あるいは句)を、基本的な文法を実際に活かしながら論理的な文に構成する能力を問うています。
- 〔Ⅲ〕 AIと組み合わせることによって手術ロボットが進化を遂げつつあることについての新聞記事からの出題です。自動運転車など他分野でのAI応用例も手掛かりにして研究の現状を正確に理解して、自動手術ロボットの実用化までにはまだ克服すべき問題があることを読み取り、説明することを求めています。和訳問題は手術ロボットと外科医の関係をニュアンスも含めて正確に表現できているかがポイントです。英訳問題は、手術ロボットによって実現可能となる状況を正確に表現することが必要です。